



【北京時事】陸上の世界 決勝で福島千里(北海道八 選手権第3日は24日、北京 イテクAC―帯南商高出)で行われ、女子100mは11秒32で2組7着に終わ

北京世界陸上

福島

日本記録ならず

女子100 準決勝で敗退

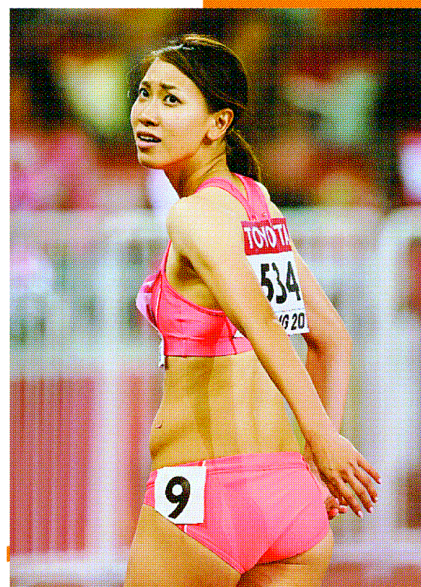
り、決勝進出はならなかつた。期待された自らの日本記録(11秒21)の更新もな

2大会ぶりに臨んだ女子100m準決勝。福島は自身の持つ日本記録更新を狙ったが、力を発揮し切れなかった。

序盤から出遅れて11秒32で敗退。「ちよつと力みが出たかな」と悔やんだ。

スタートは反応こそ悪くなかったが、最初の数歩でややもたついた。「乗れるところで乗り切れなかった」。得意の序盤で持ち味を出せなかったことが響き、その後も伸びを欠いた。

予選では自身が201女子100m準決勝で11秒32の組7着に終わり敗退した福島千里(左)。序盤から出遅れ、自身の日本記録更新も逃した



得意のスタート不発

200へ「終わりじゃない」

日本記録に迫った予選からタイムを落とし、厳しい表情を見せる福島千里

0年にマークした日本記録に0秒02と迫る11秒23。だが、そこからタイムを落とし、「結果が出なかったのは駄目」と顔をしかめた。

100mで10秒3台のタイムを持つ男子選手との激しい練習で力を付け、今季は徐々に好記録を連発。10秒台が必要になる決勝進出は難しくても、5年前の自分の記録をすぐに超えられそうな感覚はある。

「これで終わりじゃないので。200mにつなげたい。思い切りいく」と誓った。